

平成25年6月26日
中国電力株式会社

第89回定時株主総会後 記者会見 社長あいさつ

本日は、株主総会後の会見ということで、まずは総会を終えた所感をお話しし、あわせて当社の現状についても、改めてご説明します。

<株主総会を終えて>

まず、今回の株主総会については、株主の皆さまから多くのご質問・ご意見をいただきました。内容はいろいろとありましたが、電気事業制度のあり方をはじめ、原子力発電所の安全対策に係る取り組み、当社の収支状況など、事業運営全般に関して、真摯なご意見をいただいたものと受け止めています。

当社にとって、「低廉で良質な電気を安定してお客さまにお届けする」ことは、社会的な使命であり、こうした役割を今後ともしっかりと果たしていきたいと、改めて認識したところです。

また、本日の総会では、配当原資等に充当するため、別途積立金の一部を取り崩すことを会社提案としてお願いし、ご承認いただきました。原子力発電所の再稼働時期が不透明な中、今年度の収支も大変厳しいと認識していますが、引き続き、全社を挙げて徹底した効率化・コスト削減に取り組むことにより、できる限り現行の料金水準を維持したいと考えています。

<原子力発電所の状況>

続いて、原子力発電所の状況についてご説明します。

先般、原子力発電所の新規制基準が原子力規制委員会において決定され、来月8日に施行されることとなりました。

島根原子力発電所1号機については、40年運転制限に係る「運転期間延長認可制度」の内容を踏まえて対策を実施する方が、効果的・効率的であることから、現在検討中の対策もありますが、2号機、3号機については、新規制基準に対応した対策を、ほぼ実施済み、もしくは実施中であると考えており、これらの安全対策について、新規制基準に基づき、速やかにその適合性を審査していただけるよう申請を行うことは、事業者としての務めであると考えています。

現時点で、安全審査の申請時期や、その後の再稼働時期等について申し上げられる段階にはありませんが、再稼働や運転開始に向けては、「安全性の確保」が大前提であり、実施中の対策について、確実かつできるだけ早期化できる

よう取り組んでいくことはもとより、皆さまにご安心いただけるよう、引き続き、世界最高水準の安全性を目指した取組みを鋭意進めていきたいと考えています。

＜今夏の需給について＞

さて、来週から7月に入りますが、三隅発電所1号機がボイラー内部の蒸気漏洩により、今月21日から運転を停止しており、皆さまにご心配をおかけしています。現在、復旧作業を行なっており、1日も早く発電を再開できるよう、全力で取り組んでいるところです。

他の火力発電所についても、皆さまご承知のとおり、高経年のプラントを長期間稼働させている状態にあります。当社としては、トラブル発生のリスクを極力小さくするよう、引き続き最大限の取組みを行い、この夏もお客さまに安定して電気をお届けしたいと考えています。

お客さまには、引き続き、上手に無駄なく電気をお使いいただき、無理のない範囲での節電にご協力をお願いします。

＜最後に＞

最後に、総会後の取締役会で決定した役員担務について補足しますと、まず、島根支社長に、渡部常務を配置することとしました。

これは、今後の島根原子力発電所の動向については、電力の安定供給の確保のみならず、収支や電気料金など、当社事業に大変大きな影響を及ぼすものであることから、事業活動全般について広くご理解いただけるような地域対応に向けて、常務を配置することとしたものです。

また、上関原子力立地プロジェクト長には、迫谷常務を配置することとしました。私自身が、社長として、引き続き全体を統括する立場で係わっていくことに変わりはありませんが、上関原子力発電所の開発のほか、電気事業のシステム改革や、島根原子力発電所の安全対策など、大変重要かつ喫緊の課題が山積する中で、各課題に迅速に対応していくためには、常務を専任のプロジェクト長として配置することが適切であると判断したものです。

当社を取り巻く環境は、大変厳しい状況にありますが、本日決定した新たな布陣のもと、経営層が率先し、全社一丸となって諸課題に取り組んでまいります。

以 上